

## 令和元年度 諏訪二葉高校同窓会 伊北支部定期総会参加報告

令和元年10月20日（日）の伊北支部定期総会に、守屋校長、副会長の石澤の2名で参加しました。

前月に続く大きな台風直後の被害報道の最中、曇天の中、辰野に向かうに連れて青空が拡がり、小山の頂上に建つ『たつのパークホテル』からは紅葉前の爽やかな秋晴れの景色が見晴らせました。

参加者は36名（対象者370名）で例年規模との事で、今年も男性役員さんが1名参加していらっしゃいました。

第1部の総会（議事や報告）の後11時過ぎからのアトラクションと第2部の昼食懇親会に出席し、終始和気藹々とした雰囲気の中で楽しく過ごさせて頂きました。



### <アトラクション：語りと音楽>

地元でご活躍中の奏者と語りの皆様による、サキソフーン演奏とむかし話です。

サキソフーンの秋にお似合いの音色でリラックスし、方言を使っての地元の昔話や海外のユーモラスな寓話で大笑いさせていただき、気分がすっかり解れました。最後にサキソフーンの生伴奏で皆んなで『ふるさと』を合唱しました。

・サキソフーン演奏；川島周氏（3曲：Old Folks, Travels, A Night in Tunisia~Bye-Ya）

・語り：中谷よし子様、吉澤志津江様（昔話：長野県のおはなし、外国のおはなし、ゆかいなお話）

### <第2部：昼食懇親会>

支部長の百瀬よし江様の開会の言葉の後、来賓挨拶で岸同窓会長からお預かりした挨拶文を代読させて頂き、前支部長の大森恭子様乾杯で昼食会が始まりました。

岸会長からの挨拶では、日頃の同窓会活動へのご理解・ご協力への感謝と、伊北支部の工夫を凝らした支部運営への感謝と敬意を表し、同窓会の最近の活動（昔二葉で製作された『夏休みのうた』が蓼科高原映画祭で上映さ

れた事、第12回ロビーコンサート、同窓会バス旅行)の様子を披露し、高校再編のへのご理解と見守り、ご意見を頂きたい旨お願い致しました。

テーブルの季節のお料理を楽しみながら暫し歓談の後、守屋校長先生のご挨拶が始まりました。

まず、先日の2つの台風による被害について、直接・間接の被害を受けられた方々へのお見舞いの言葉、続いてご用意の資料に沿って教育方針と高校再編のお話、昨年の諏訪二葉高校の進学実績やクラブ活動の状況等が紹介されました。

その後、歓談しながら各テーブルから一人ずつ、自己紹介、思い出、近況、などが語られました。その中で、特に印象深かったのは、都会での子育てが終わり両親の介護のために何十年か振りで郷里で暮らす事になった方の話で、帰郷しても親しい知り合いが見当たらない中、同窓会から声をかけて貰ったことが有難かったとの事でした。テーブルでは、懐かしい先生方の思い出話に花が咲いて、気がつけば初対面でも、世代が違っても恩師や学校を偲ぶ想いに共感したり、思い掛けず懐かしい方にお目にかかったり、同窓会ならではの一体感を感じました。また、伊北地区は山に隔てられていても諏訪に近いという事で、母校への想いが強い同窓生が多いとの事です。

やがてデザートが運ばれて、お開きの時間となり、白き翼を合唱して閉会となりました。

ここにも諏訪二葉高校を大切に思い、同窓会活動を次世代に引き継いでいらっしゃる方々が少なからず居る事が心強く、『二葉の灯が脈々と灯され続けている』(岸会長挨拶より)事を実感しました。長野県内でも災害の多い今年、このように伊北支部総会が開催されて、そこに参加できた事に感謝致します。

石澤 記